

4年生 「大根の苗植え」

- 1 日時 平成29年9月1日(金) 10:35～11:35
- 2 参加者 4年生児童37名、担任・支援員3名、地域の高齢者13名、社協1名
- 3 活動概要(進行:4年生)
 - (1) 開会(①開会 ②あいさつ(校長先生) ③自己紹介等)
 - (2) 苗植え(①移動 ②大根の種まき)
 - (3) 閉会(①児童代表感想 ②お礼の歌 ③担任の話 ④終わりの言葉)

4 感想

私は、同じ班の人と仲よくおしゃべりをして大根の種まきができました。笑顔でふれあうことができよかったです。次の大根料理でまた一緒に活動したいです。そのために、大根が大きく育つように大切に育てたいです。【児童】

今回の交流会は、地域の高齢者の方々との交流を深め、野菜を育てることを通して自然との関わりを大切にする意識を育てることを目的に行った。地域の高齢者とふれあい活動を行うのは6月に続き2回目で、子どもたちは自分から積極的に話しかけたり、笑顔であいさつしたりなど、ふれあいを深める姿がたくさん見られた。各班に分かれて大根の種まきをするということで、自分から植え方を教わったり、一緒に協力して活動していた。最後のお礼の歌の発表の際は「まきばの朝」を一緒に合唱でき、子どもたちも高齢者の方々もとても喜んでいました。



次回の大根料理でまた会いたい、一緒に活動したいという思いもっており、そのためには大根が大きく育つように大切に育てたいという気持ちも高まっていた。

今回の交流を通して、回数を重ねたくさんふれあいを深めれば深めるほど、お年寄りの方々どう接したらいいか、喜んでもらえるのかなど、自分の経験として身につけていくのだと実感した。次回の交流でもさらに学びを深めたい。【担任】

〇〇さん(同じ班の子ども)と何回も握手して会話をしました。【参加者】

エネルギーをいただいた。11月の交流を楽しみにしています。【参加者】

孫たちが東京にいるので、なかなかできない事を学校のほうでできたこと、うれしく思っています。楽しい日を過ごさせていただきました。【参加者】

子どもたちがはっきりとした言葉で、恥ずかしがらずに楽しい出会いがあったこと、私たちが勇気をもらいました。【参加者】

5 成果及び課題

(1) 成果

- 地域の高齢者の方とのふれあいは2回目となり、どのようにふれあったらいいか、喜んでもらえるかなどを意識して、大きな声で話したり、笑顔で話しかけたりと、相手の立場に立った行動ができた。
- 班を少人数にしたことで、同じ班の高齢者の方との関わりが深まり、名前をはっきりとおぼえるなど、関係性の高まりが感じられた。
- 次回の交流が収穫後の料理だとはっきりと分かっているので、「また会いたい。」との気持ちの高まりが強まった。

(2) 課題

- △ 自分からはなかなか話しかけられない子どもも中にはおり、グルーピングの工夫が必要である。

